

テストセンサー情報をPower BIで見る - 1

テストセンサー情報のグラフ表示は、Power BIとのアカウント作成後に行えます。Power Monitor側から、Power BI側へセンサーデータを出力する流れです。

Power Monitorの左メニュー「デバイス一覧」をクリックします。

編集 (E)	デバイス ID	端末名	設定場所	モデル番号	メーカー	デバイス形式	稼働状態
<input type="checkbox"/>	ECF00E5F9B13	Sample Device		8096-AP	Ranger Systems	【空気センサー】	稼働中

テストセンサーである【空気センサー】が一覧に表示されます。

テストセンサー【空気センサー】にチェックを入れ選択します。選択すると、下部のボタンがアクティブになります。

「POWER BI連携」ボタンをクリックすると、取得するセンサーデータの期間を選択します。期間を選択し、「選択する」ボタンをクリックします。

ご注意

この画面が表示される際、ブラウザのポップアップブロックにより、Power BI画面の表示がブロックされることがあります。ブラウザの設定から、<http://www.poweriotplatform.com> のポップアップは常に許可するよう、設定の変更をお願いいたします。

しばらくデータ作成の時間がかかります。

この画面が表示されたら、Power BI側へデータが出力されました。この際、自動でPower BI画面が表示されます。

テストセンサー情報をPower BIで見る－2

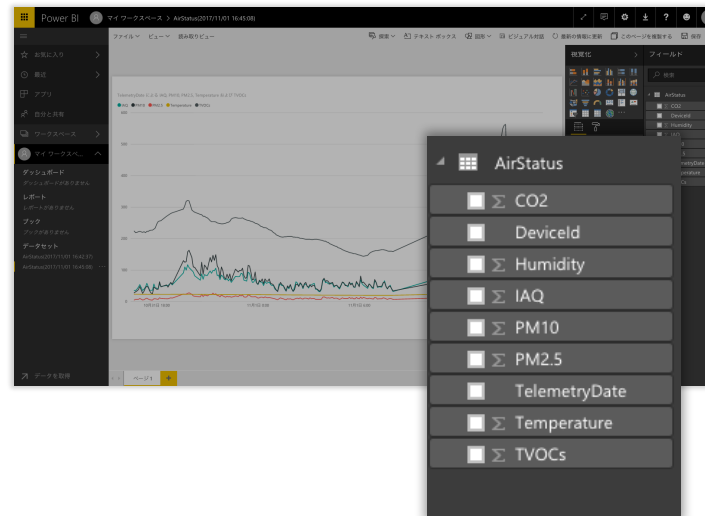
Power Monitor側から出力されたセンサーデータをPower BIで表示する流れです。



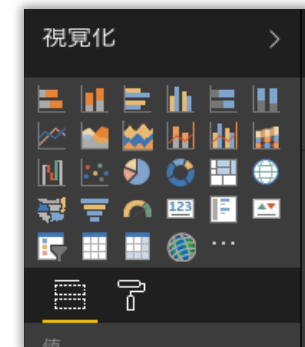
この画面が表示されると、自動でPower BI画面が起動します。※この際、ブラウザのポップアップブロックを解除してください。

Power BI左メニューの「マイワークスペース」を開きます。開いた中に「データセット」という項目があります。その下に、表示されているのが、Power Monitorから出力されたデータセットです。

表示したいデータセットをクリックするとセンサー情報が可視化できます。



センサー情報から取得されている情報を選択します。



表示したいグラフを選択します。